

平成25年度 第3回 九州工業大学 経営協議会 議事次第

日 時 平成25年11月18日(月) 13:00~15:00
場 所 百周年中村記念館 特別会議室

開 会

- 議長挨拶
- 欠席者等の案内
- 平成25年度第2回議事要旨の確認

〔審議事項〕

なし

〔報告事項〕

- (1) 平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果について
- (2) 平成24年度決算の承認について
- (3) 海外教育研究拠点MSSCについて
- (4) 教育職員のFD活動について

〔協議事項〕

- (1) 教育職員の研修について

〔その他〕

- (1) 平成25年度経営協議会 開催日程

議長謝辞

閉 会

国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（平成25年度第3回）

1. **日 時** 平成25年11月18日（月）13:00～14:50
2. **場 所** 戸畑キャンパス 百周年中村記念館 特別会議室
3. **出席者** 工藤委員，高原委員，豊川委員，成清委員，西田委員，濱田委員，藤井委員（五十音順）
学長，理事（評価・総務担当），理事（教育・情報担当），理事（研究・産学連携担当），理事（労務・財務担当），副学長（経営戦略担当），工学研究院長，情報工学研究院長，生命体工学研究科長
4. **列席者** 監事（教育・研究担当），監事（経営・財務担当）
副学長（国際担当），学長特別補佐（広報担当），学長特別補佐（評価担当）
5. **議長挨拶**
議長から，開会にあたり挨拶があった。
6. **会議成立**
構成員18名のところ，16名の出席により定足数を満たしていることが確認された。
7. **議事録の確認**
平成25年度第2回経営協議会（平成25年9月9日）の議事要旨についての確認について説明があり，了承された。
8. **報告事項**
 - (1) **平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果について**
理事（評価・総務担当）より，資料に基づき平成24年度に係る業務の実績に関する評価の結果について各項目別に説明があり，中期計画の達成に向けて順調に進んでいる旨報告があった。
なお，次のような意見等があった。
（○：学外委員，△：学内委員）
○： 全体的に高い評価であり，特に明専会との連携について評価されているため，うれしく思う。
○： 教員の年俸制導入では，どのような分野の教員を採用したのか。
△： 4月の時点では外国人教員を3名雇用したが，来年4月に向けて合計7名の年俸制を採用予定であり，その中には日本人も予定している。
なお，年俸制教員を増やしていきたいが，年俸制の制度では退職金を年俸額に含めることで，退職金相当額を大学が負担しているため，退職金を国で負担してもらおうよう文部科学省や国立大学協会に人事制度の改善について要求している。
○： 国も新たな試みを進めている大学に関しては，柔軟に判断し対応しているよ

うに感じられる。

△： 昨年の政権交代以降、国も改革に対して積極的に支援しているように思う。

(2) 平成24年度決算の承認について

学長より、平成24年度決算の承認について報告があった。

(3) 海外教育研究拠点MSSCについて

学長より、本年4月より設置した海外教育研究拠点（マレーシア）であるMSSCの教育研究の展開、取組み実績や成果、課題等について報告があった。

なお、MSSCに関し次のような意見等があった。

(○：学外委員，△：学内委員)

○： マレーシアというのは親日的で政状も安定しており日系企業も多いため、海外の拠点としては適していると思う。これからのステップとして教育をもう少し発展させ、商工会議所やジェトロと連携を進めることで、産業界や経済界との交流を目的の一つとしてはどうか。

△： 次年度に向けて、現地の商工会議所と連携して学生のインターンシップを計画しており、製造系の企業に関わらず、流通など製造系以外の企業にも交渉している。

なお、マレーシアも重要であるが現在企業の主力はタイにあるため、学生の派遣をバンコクを中心に展開していきたいと考えている。バンコクには本学卒業生も多く在住しているため、卒業生とのコンタクトを活用しながら、活動を進めていきたい。

○： 多くの学生を海外に派遣させるためには、かなりの経費が必要であり明専会としても微力ながら協力しているが、今後は持続可能な資金作りの仕組みを作る必要がある。

△： MSSCシンポジウムでも学生の派遣にはかなりの経費がかかっているが、今年度はタイ航空とタイアップすることで安価な運賃で派遣することができており、予想以上の安い経費で済んだ。

将来的には寄附金など資金作りの仕組みを考える必要があるため、今後議論させていただきたい。

○： 他にどこの大学がプトラ大学とこのような交流をしているのか。

△： 現在のところは無い。日本ではいくつかの大学が同じような取り組みを計画しており、名古屋大学はASEAN全部と計画を進めている。本学としてはMSSCを拠点として、少しずつ広げていければと考えている。

○： プトラ大学が九工大や学研都市などに拠点を構えたり、優秀な学生を受け入れることはあるか。

△： 学生は既に本学で受け入れているが、経済的にプトラ大学が日本に施設を置くことは難しい。

(4) 教育職員のFD活動について

理事（教育・情報担当）より、平成24年度からこれまでに実施したFD（Faculty Development：教員の教育能力を高めるための取組）研修について報告があった。

(5) 給与減額支給措置について

学長より、国家公務員の給与減額支給措置について平成26年3月31日をもって終了することが閣議決定された旨報告があり、本学においても同様に減額措置を終了する旨説明があった。

9. その他

(1) 平成25年度経営協議会 開催日程

学長より、次回開催日程について説明があり、戸畑キャンパスにて行う旨、報告があった。